

平成 22 年度事業報告書

概 況

平成 22 年度は、事業仕分けによる大幅な国庫補助金削減があり、自主・自立の運営基盤強化と効率化が求められた。さらに 3・11 東日本大震災に見舞われ、県内でも特に沿岸地域のシルバー人材センターで大きな被害を受けた。当センターもライフライン等をはじめ業務面で少なからず影響があった。

こうした中、公益社団法人移行の認定を受けるため委員会を立ち上げ、検討を重ね、12 月に申請の結果、3 月 23 日に県の認定委員会より答申を受けることができた。平成 23 年 4 月 1 日より新法人として新たにスタートすることになる。

こうした社会情勢の中、私達の富谷町シルバー人材センター(以下「センター」という)は、当初の事業計画を達成するため会員・役職員が一丸となって取り組みを遂行した。事業計画の重点実施事項において推進した事項は次の通りである。

1 事故防止等の徹底

就業時は事故防止の徹底を最優先に考え、安全・適正就業推進計画に基づき、安全就業の徹底を図った。

2 公益法人制度改革への取組み

公益法人制度改革において、委員会で検討を継続し、平成 23 年 4 月 1 日公益社団法人富谷町シルバー人材センターとして登記が完了した。

3 独自事業の推進

平成 21 年度に続き、刃物研ぎ、小物作り及び販売を行い、前年度以上の実績があった。

4 シルバーワークプラザの検討について

高齢者が社会の担い手として活躍し続けるためには、シルバーワークプラザが必要であり、センター内の「調査検討委員会」において、検討を継続した。

5 福祉等サービス事業の推進

厚生労働省の「企画提案型」事業として子育てサロン「ほっと育く」を運営し、住民の要望に応えると共に女性会員の就業の場の確保に努めた。

家事援助の件数も増加した。

6 関係諸機関との連携強化

富谷町当局をはじめ、関係諸機関や団体との連携を図りながら協力体制の構築を図った。

7 シルバー派遣事業の推進

宮城県シルバー人材センター連合会指導のもと、平成 23 年 4 月 1 日より派遣事業を開始することにした。

8 第 2 次短・中期行動実施計画の策定

委員会を立ち上げ、今後 5 年間の当センターの指針となる計画を平成 23 年 5 月通常総会に報告できるよう策定した。

平成22年度も会員のなお一層の協力と、関係各位ご支援ご指導をお願い申し上げ、平成22年度実施事業の概要報告とする。

なお、平成22年度の事業計画と事業実績は下表のとおりである。

| 項 目 | 事 業 計 画 | 事 業 実 績 | 達 成 率 |
|-----------|------------|------------|--------|
| 正 会 員 | 460 人 | 433 人 | 94.1% |
| 受 注 件 数 | 760 件 | 1,397 件 | 183.8% |
| 契 約 金 額 | 132,000 千円 | 145,206 千円 | 110.0% |
| 就 業 延 人 員 | 36,544 人日 | 36,543 人日 | 99.9% |
| 就 業 率 | 84% | 95.2% | 113.3% |
| 粗 入 会 率 | 4.90% | 4.36% | 88.9% |

第 1 事業運営

1 事故防止等の徹底

事故防止の徹底を重点実施事項に掲げ、安全・適正就業推進計画に基づき、毎月 1 日・15 日は「安全の日」とし安全意識高揚に努め、特に除草班においては危険予知活動を徹底し、事故を未然に防ぐよう推進した。植木班・除草班・運転送迎班に対し特別研修を行ったほか、安全・適正就業委員会を毎月、安全就業推進大会、安全パトロール、富谷自動車学校における運転講習、地域班会議、職群班会議等あらゆる機会を捉え周知徹底を図った。

また緊急時に備えて黒川消防本部の協力を得て、普通救命講習会を前年に引き続き開催し 31 名が受講した。

その結果、人身事故は除草時、植木剪定時のけがが各 1 件、物損事故は運転送迎中の軽易な事故 9 件と除草作業中の飛び石による軽易な事故 6 件であり、なお平成 23 年度は件数が減少するよう対策を講じていく必要がある。

2 公益法人制度改革への取組み

公益法人制度改革において、委員会で検討を継続し、県の認定委員会への申請、答申をへて、平成 23 年 4 月 1 日公益社団法人富谷町シルバー人材センターとして登記が完了した。

今後これまで以上に公益性を重視し、法令順守、内部統治、情報公開が求められる中での事業運営を行う必要がある。

3 独自事業の推進

小物作りサークル「なごみの会」は、毎月第 1・3 火曜日を基本に製作活動を行った。また、会員のニーズに応えて新たな商品開拓を行い、地域住民の交流の場での作品展示や町の行事などで販売をした。

刃物研ぎは、広報活動を拡充し就業の機会を増やして行きたい。

なお、平成 22 年度の実施状況については、表 1 の通りである。

表 1 平成 22 年度独自事業実施状況

| | 実施回数 | 受注金額 | 就業延人員 |
|------|------|-----------|-------|
| 刃物研ぎ | 3 回 | 28,500 円 | 7 人日 |
| 小物販売 | 9 回 | 208,650 円 | 75 人日 |
| 合 計 | 12 回 | 237,150 円 | 82 人日 |

4 シルバーワークプラザの検討について

今年度の検討委員会は未実施だったが、平成 26 年 3 月を整備目標とし、行政等関係機関からの情報収集を行い、今年度は関係機関、団体、企業等の意見も十分考慮し、更に具体的な検討を行う。

5 福祉等サービス事業の推進

(1) 子育てサロン「ほっと育^すく」運営について

昨年度に引続き、子育てサロン「ほっと育く」を運営している。このサロンは女性会員の就業の場の確保と地域住民の要望に応えて、子育て世代の親子を対象に事業を展開している。平成 20 年 4 月に開所以来、平成 22 年 11 月には利用者延べ人数が 5,000 人を達成し、富谷町のそれぞれの地区から利用頂き、利用者とスタッフの間の信頼関係を築いている。

なお、平成 22 年度の利用状況は表 2 の通りである。

(2) 育児支援・家事援助・福祉等サービスについて

育児支援について、子育てサロン「ほっと育く」運営のほか、一時預かり等も行っており、利用者の要望に応えるため、外部講師による講習を行い、子育てサポーターのスキルアップを図った。

家事援助サービスについては、サロンの利用者増加にも伴い、産後の家事援助の受注件数が増え、継続しての受注もある。高齢者の福祉等サービスも行政との連携で受注も増えてきている。

特に家事援助について先進シルバー人材センター視察を行い、就業手法やお客様とのかかわり方、今後の就業拡大、就業内容の充実を図るための参考となった。

なお、平成 22 年度の実施状況は表 3 の通りである。

表 2 平成 22 年度子育てサロン「ほっと育く」利用状況
(上期)

| 月度 | 延べ人数(新規) | 開所日数 | 1日平均人数 |
|-----|------------|------|--------|
| 4月度 | 183(47) | 21 | 8.7人 |
| 5月度 | 185(38) | 18 | 10.3人 |
| 6月度 | 209(51) | 22 | 9.5人 |
| 7月度 | 259(70) | 21 | 12.3人 |
| 8月度 | 224(61) | 20 | 11.2人 |
| 9月度 | 248(61) | 20 | 12.4人 |
| 計 | 1,308(328) | 122 | 10.7人 |

(下期)

| | | | |
|------|------------|-----|-------|
| 10月度 | 185(50) | 20 | 9.3人 |
| 11月度 | 214(55) | 20 | 10.7人 |
| 12月度 | 146(47) | 17 | 8.6人 |
| 1月度 | 172(57) | 17 | 10.1人 |
| 2月度 | 206(61) | 19 | 10.8人 |
| 3月度 | 104(47) | 9 | 11.6人 |
| 計 | 1,027(317) | 102 | 10.1人 |

平成 22 年度実績(H23.3 末現在)

| | |
|--------|--------|
| 延べ人数 | 2,335人 |
| 新規利用者 | 645人 |
| 開所日 | 224日 |
| 1日平均人数 | 10.4人 |

H22.11.11 現在、利用者延人員 5,000 人達成いたしました。

利用者地区別分布(期間 H22.4.1 から H23.3.31 まで)

| 順位 | 地区名 | 新規利用人数 | 割合 | 備考 |
|----|-----------|--------|-------|----|
| 1 | 富谷 | 291人 | 45.1% | |
| 2 | 東向陽台・明石台 | 90人 | 14.0% | |
| 3 | あけの平・とちの木 | 89人 | 13.8% | |
| 4 | 日吉台・杜乃橋 | 48人 | 7.4% | |
| 5 | 成田 | 47人 | 7.3% | |
| 6 | 大清水・上桜木 | 43人 | 6.7% | |
| 7 | 町外 | 26人 | 4.0% | |
| 8 | 富ヶ丘・鷹乃杜 | 11人 | 1.7% | |

表 3 平成 22 年度福祉等サービス実施状況

| | 受注・就業 | 受注金額 | 就業延人員 |
|------------|-------|------------|-------|
| 育児支援サービス | 79件 | 283,589円 | 134人日 |
| 家事援助サービス | 37件 | 1,066,225円 | 637人日 |
| 高齢者福祉等サービス | 4件 | 464,064円 | 214人日 |
| 合計 | 120件 | 1,813,878円 | 985人日 |

6 関係諸機関との連携強化

富谷町当局をはじめ、関係諸機関や団体との連携を図りながら協力体制の構築を図った。今後もより一層の連携強化を図っていく。

7 シルバー派遣事業の推進

宮城県シルバー人材センター連合会指導のもと、平成 23 年 4 月 1 日より派遣事業を開始した。学校関係業務、運転送迎業務を派遣業務へ移行したが、さらに適正就業の点検を行い、派遣事業にふさわしい業務は順次移行をすすめる。

8 第 2 次中期「行動実施計画」アクションプランの策定

委員会を立ち上げ、2010 年までの 5 年間の実績を分析検証し、町民、事業所に対するアンケートを実施し、その結果を踏まえ、今後 5 年間の当センターの指針となる第 2 次中期行動実施計画「アクションプラン 2015」を策定した。今後この計画を基本に事業運営を進めていく。

住宅用火災警報器及び家具転倒防止器具の取付サービス事業の推進

昨年度に引続き実施した住宅用火災警報器の実績状況については、表 4 の通りとなっております。なお家具転倒防止器具取付について受注はなかったが、今後は取付推進を図るため P R 活動を行い、受注につなげていきたい。

表 4 平成 22 年度住宅用火災警報器及び家具転倒防止器具取付の実績状況

| 火災警報器 | 契約件数 | 契約個数 | 契約金額 | 就業実人員 | 就業延日人員 |
|-------|------|------|----------|-------|--------|
| 取付 | 15 件 | 25 個 | 93,960 円 | 1 人 | 11 人日 |

就業機会の拡大

営業業務の経験がある会員を就業機会開発員に委嘱し、企業・各種団体・一般家庭等を訪問し、特に一般家庭の就業受注開発を積極的に進めた。その結果、下記の通りの受注があり、今年度の受託事業予算額の目標達成につながった。実績は表 5 の通りである。

表 5 就業機会開発員活動状況（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

| 訪問件数 | 契約件数 | 契約金額 | 就業延実人員 | 就業延日人員 |
|----------|------|-----------|--------|--------|
| 11,587 件 | 64 件 | 985,757 円 | 99 人 | 162 人日 |

講習会の開催

植木剪定、草刈（機械・手取）、清掃、筆耕（毛筆による賞状、宛名書き）、表具、育児支援サービスなど技術・技能を必要とする職種について、専門講習会を行い、会員の技能向上を図った。その結果、質の高い就業につながり、お客様の要望に応えられた。

ボランティア活動の実施

地域社会のために持てる能力をボランティア活動に発揮し、子供達に向けられる危険な犯罪を未然に防ぐために小学校区ごとに実施している巡回活動を継続実施してきた。

平成 22 年度巡回活動実施状況は、表 6 の通りである。

また、設立当初から継続しているシルバーの日における町内各公民館の清掃活動、「十三夜・魂のふるさとまつり」への参加を通して地域活性化活動を実施した。今後も地域の下支えとしての活動を継続していきたい。

なお平成 22 年度から、就業できない会員が健康維持のためにセンターの各種行事やボランティア活動に参加できる「ゴールド会員」制度を設け、会員を継続できるようにしている。

表 6 平成 22 年度巡回活動実施状況

| 小学校区名 | 地域班名 | 巡回活動参加延人数 | 備 考 |
|----------|-------|-----------|--------------|
| 富谷小学校区 | 富谷第 1 | 408 | |
| | 富谷第 2 | | |
| あけの平小学校区 | あけの平北 | 415 | |
| | あけの平南 | | |
| 富ヶ丘小学校区 | 富ヶ丘南部 | 512 | |
| | 富ヶ丘北部 | | |
| | 鷹乃杜 | | |
| 日吉台小学校区 | 日吉台 | 126 | |
| 東向陽台小学校区 | 東向陽台 | 190 | |
| 成田東小学校区 | 成田東 | 210 | （成田小学校区も兼ねる） |
| 合 計 | | 1,861 | |